



東彼杵町立彼杵小学校 学校だより

校訓：「強く 正しく 朗らかに」

学校教育目標：「ふるさとに愛着を持ち、心豊かにたくましく生きる彼杵っ子」

今年の合い言葉 「よく学び よく遊べ」

令和4年5月31日

NO. 10

校長 白水 聡

平和を願って

5月27日、4年生の平和学習にゲストティーチャーとして、東彼杵更生保護女性会の佐藤八重さん、宮崎洋子さん、山崎美乃さんが来られました。佐藤先生は彼杵小に11年間も勤務されたことがあるそうで、まさに「ようこそ、大先輩!!」という感じです。保健室の森先生も教え子だそうです。

写真のように地図や文字を見せながらわかりやすく話してくださいました。終了後に「ちょっと話が難しかったですでしょうか？」と何度も講話内容を振り返られる姿に、子どもたちを気遣う温かいお人柄を感じました。



講話の中で、「戦争は恐ろしいです。大人も子どももがまんしていました。」「みんな仲良く暮らせるような日本、世界をつくり上げてほしい。」「平和を守るためにも、世界にも歴史にも目を向けてほしい。」と話されました。もちろん、ウクライナの惨状にもふれながら…。

5月31日には、平和公園、原爆資料館見学が予定されています。今日の学びがさらに深まり、平和を願う気持ちの高まりが見られることでしょうか。ありがとうございました！お元気で！！

学校探検



生活科の学習では1年生と2年生がペアになって、学校を探検して回るという「1年生を迎えよう」という単元があります。

校長室の様子を、目を輝かせながらぐるぐると見回す子どもたちの姿が微笑ましかったです。2年生の子が、歴代の校長先生の写真を見ながら説明する姿もいきいきとしていました。

担任の先生によると、昼休みも一緒に遊んでいるペアがあったそうです。

よい交流の機会でした。きっと来年は今の1年生が、お兄さん、お姉さんとして張り切って学校を案内することでしょう。

「暗証検定」を始めました。

「児童の実態に即した詩や文学作品を音読したり、暗唱したりすることで、日本語の美しさや情感にふれると共に、記憶する技能の高まりや発音の改善、さらには一つのことを達成する喜びを味わわせる。」というねらいで、校長室での暗証検定を始めました。まずは、高学年（5、6年生）からチャレンジさせていきます。今回のお題は「祇園精舎の鐘の声…」で始まる「平家物語」の一節です。

すらすらと校長室で暗唱できた人には、「暗唱認定証」を渡します。もしお子さんがこれを持ち帰ってきたときには、大いにほめてあげてください。自己肯定感や次へのやる気や意欲は、そうして少しずつ育まれるものと思います。「また頑張ってください。」と励ましてください。

詩や言葉の意味はよく分からないまま暗唱する子が多いことでしょう。それを説明する時間をとるのもなかなか難しいです。ただ、いつかその詩に再会したときに、「あ～、そういうことだったのか。」と学びがつながるきっかけになればと、ささやかに願うところです。